

山の百名花 番外編

遠足会員 入江 かをる

【117】クモマスマイレ (雲間菫)

スマイレの仲間、植物写真家いがりまさし著の「日本のスマイレ」には索引にあるだけでも150種を超える。

関東地方の野山で見るスマイレは白く紫と決まっているが、高山に咲くスマイレは何故か黄色のようだ。花期も雪の解ける真夏となる。図鑑でしか見たことの無い黄色いスマイレに初めて出逢ったのは鹿島槍ヶ岳への山旅で5年前の8月初めだった。

初めに見つけたのは、爺ヶ岳への柏原新道での道端で、三角形の葉で一輪だけ咲いていたオオバキスマイレの仲間のミヤマキスマイレだった。花の盛りは過ぎていたが、初めて見た黄色いスマイレで嬉しかった。

翌日向かった冷池山荘から鹿島槍ヶ岳に至る登山道は、ずっとお花畑で感激した。時間もタップリあったので、心ゆくまで写真を撮った。ここでは光沢のある丸い葉を持つクモマスマイレが咲いていた。タカネスマイレの仲間、日本のスマイレの中では最も高所に生え、中央アルプスと北アルプスの

高所砂礫地で見られるという。クモマスマイレは葉の色も濃く葉脈がくつきりしている。岩の間から顔を覗かせた姿が可愛かった。

その場でわからない花の名前は、角度を変えて写真に撮り、帰ってから図鑑やインターネットで調べる。山を下りても楽しみが待っているのである。



【118】クモイコザクラ (雲居小桜)

クモイコザクラはサクラソウ属のコイワザクラの変種で、南アルプス、秩父山地、そして八ヶ岳に生育する。八ヶ岳では、キヨサトコザクラとも呼ばれる。その写真をウェブサイトで見てすっかり魅せられ、翌2009年のGWに見に行った。

詳しい場所の情報もないまま、高原の駅に降り立ち、観光案内所で聞いてみた。係の人は、その植物を知らなかったが、電話で問い合わせしてくれた。しかし、「絶滅危惧

種なので教えられない」という返事だった。係の人は気の毒がつてこっそり「この辺ではないかな？」と観光地図で示してくれた。

私の予想もその通りだったし、半分はハイキングなので、天気もよいし軽やかに歩き始めた。牧場からは八ヶ岳が見え、思いがけずサクラソウにも出会い、幸先良いと気を良くした。渓谷沿いを歩き始めると、ネコノメソウ、エイザンスミレ、ヒトリシズカ等の早春の花々が花盛りで、写真撮影に興じた。

しかし、クモイコザクラは現れない。岩の間から顔を出していた写真を思い浮かべ、岩場に目を向けて歩きながらも、帰りの列車が気になり始めた。この道沿いではなかったのかなと思い始めた頃に出くわした。花はハクサンコザクラに似てピンク、丸い葉の縁に裂け目が入る。10株以上はあったと思う。夢中で写真を撮ったが、ハイカーたちは目線より上の花には気がつかない様子。「何があるんですか？」などという。気がつかないなんてもつたいたいと思う反面、絶滅危惧種なのだから、人目につかない方が良いのだとも思った。